学生用共通基準範囲の考え方と利用時の留意事項-2025 年改訂-日本臨床検査医学会標準化委員会

日本臨床検査医学会では 2010 年 11 月に臨床検査値の学生用共通基準範囲を設定しました 1-3)。これは、医学教育の場で臨床検査値の全国統一的判断を可能にすることで、診断学教育の効率化と標準化に資することを目的としたものです。設定から 10 年以上が経過し、日本臨床検査標準協議会(JCCLS)の共用基準範囲 4)を医療機関の基準範囲として採用することが一般化したことや、ALP と LD の常用基準法の国際臨床化学連合(IFCC)の基準測定操作法と同一の測定法(IFCC 法)への変更を受け、学生用共通基準範囲を改訂しました。血糖値、HbA1c、HDL-C、LDL-C、TG、尿酸値については糖尿病、脂質異常症、高尿酸血症それぞれの診療ガイドラインに沿った教育・診療が行われていることから、最新の診療ガイドラインで定義された臨床判断値を採用しました。末梢血液における白血球分類は日本臨床衛生検査技師会・日本検査血液学会 血球形態標準化ワーキンググループによる末梢血液における白血球目視分類の共用基準範囲の設定 5)を採用しました。指導医とともに実臨床の場で検査値を評価する実習に重点が置かれていること、医師国家試験問題では実臨床と同じ検査値が提示されていることから本改訂では検査値は簡略化せず、日常診療で利用しているものを採用しました。医学教育において本基準範囲を有効活用していただくために、利用に当たり以下の点にご理解とご留意をお願い申し上げます。

- (1) JCCLS の共用基準範囲に準拠し、JCCLS の共用基準範囲の設定がない項目は成書を含め種々の調査結果を参考にして設定しました。
- (2) 教育・診療の実用に十分対応できるものとしました。
- (3) HbA1c、尿酸値、HDL-C、LDL-C、TG は臨床判断値を採用しました。
- (4) 空腹時血糖値は ICCLS の共用基準範囲と臨床判断値の両者を採用しました。
- (5) 基準範囲と臨床判断値を個別に記載しました。
- (6) ALP と LD は IFCC 法の基準範囲を採用しました。
- (7)末梢血液における白血球分類は日本臨床衛生検査技師会・日本検査血液学会 血球 形態標準化ワーキンググループによる「末梢血液における白血球目視分類の共用基 準範囲の設定」を採用しました。
- (8) 医師国家試験に準拠し、必ず憶えておくべき検査項目(医師国家試験問題では基準範囲を省略できる)と必ずしも憶えておかなくてもよい検査項目(同問題で基準範囲は記載する)の2つに分けました。医師以外の他の職種の試験問題でも本学生用共通基準範囲は使用できます。

上記にご留意の上、学生用共通基準範囲が教育の現場で幅広く有効活用していただける ことを希望しています。

- 1) 学生用共通基準範囲の考え方と利用時の留意事項 https://jslm.org/committees/standard/2011thinking.pdf
- 2) 基準範囲の記載を省略できない検査項目

https://jslm.org/committees/standard/referencerange110222.pdf

3) 基準範囲の記載を省略できる検査項目

https://jslm.org/committees/standard/c_reference_range110805.pdf

- 4) 日本における主要な臨床検査項目の共用基準範囲-解説と利用の手引きhttps://www.jccls.org/wp-content/uploads/2022/10/kijyunhani20221031.pdf
- 5)末梢血液における白血球目視分類の共用基準範囲の設定 https://www.jstage.jst.go.jp/article/jamt/64/6/64_15-52/_pdf/-char/ja

医療系学生用基準範囲 2025 年 11 月改訂

1. 基準範囲の記載を省略できる検査項目								
領域	検査項目 <略語>	検体	単位	基	準範囲	出典		
	血糖値	血漿	mg/dL		時血糖値 ~ 109	JCCLS		
	総蛋白 < TP >				~ 8.1	→ 共用基準範囲		
	アルブミン <alb></alb>	-	g/dL		~ 5.1			
	アルブミン	-			~ 71.8			
	α ₁ -グロブリン	-	%		~ 2.9	-		
蛋白	σ グロブリン	+			~ 9.5	標準臨床検査医学		
分画	β-グロブリン	_			~ 11.1	第5版(医学書院)		
	γ-グロブリン	1			~ 20.4	+		
	尿素窒素 <un></un>	-			~ 20			
	////////////////////////////////////	-			~ 1.07	JCCLS		
	クレアチニン <cr></cr>				~ 0.79	共用基準範囲		
	総ビリルビン <t-bil></t-bil>	-	mg/dL		~ 1.5	- 7002140		
	直接ビリルビン <d-bil></d-bil>	_	-		~ 0.4			
	間接ビリルビン <i-bil></i-bil>	_			~ 0.8	第5版(医学書院)		
	アスパラギン酸トランスフェラーゼ	-						
	<ast></ast>		青 U/L	13	~ 30			
!	アラニンアミノトランスフェラーゼ	1		M: 10	~ 42	7		
)	<alt></alt>	血清		F: 7	~ 23			
ì	γグルタミルトランスペプチダーゼ	_		M:13	~ 64	7		
	< γ GT>			F:9	~ 32			
	- 11 > 1 12 + 01 5	1		M:240	~ 486	7		
	コリンエステラーゼ <che></che>			F:201	~ 421			
	乳酸脱水素酵素 <ld></ld>			124	~ 222			
	アルカリフォスファターゼ <alp></alp>			38	~ 113	JCCLS		
	クレアチンキナーゼ < CK>				~ 248 ~ 153	共用基準範囲		
	アミラーゼ <amy></amy>	-			~ 132	=		
	ナトリウム <na></na>	1	mmol/L		~ 145	-		
	カリウム <k></k>	+			~ 4.8	-		
	クロール <ci></ci>	-			~ 108	┪		
	カルシウム <ca></ca>		mg/dL		~ 10.1	1		
	無機リン <p></p>	-			~ 4.6	1		
	鉄 <fe></fe>	1	μg/dL	40	~ 188	=		
	C反応性蛋白 <crp></crp>		mg/dL		≦ 0.14			
1	рН			7.35	~ 7.45			
Ž	PaCO ₂	全血	Torr	35	~ 45	標準臨床検査医学		
	PaO ₂		Torr	75	~ 100	第5版(医学書院)		
·	HCO ₃ -		mmol/L	22	~ 26			

		1. 基準	範囲の言	己載を省略で	できる検査項目	
領	[域	検査項目 <略語>	検体	単位	基準範囲	出典
					M: 2 ~ 10	標準臨床検査医学
		赤血球沈降速度		mm/hr	F: 3 ~ 15	第5版(医学書院)
			-		M: 4.35 ∼ 5.55	
		赤血球数 <rbc></rbc>		$10^6/\mu$ L	F: 3.86 ~ 4.92	
				g/dL	M: 13.7 ~ 16.8	-
		ヘモグロビン <hb></hb>			F: 11.6 ~ 14.8	
			1		M: 40.7 ~ 50.1	JCCLS
		ヘマトクリット値 <ht></ht>		%	F: 35.1 ~ 44.4	共用基準範囲
		平均赤血球容積 < MCV >	1	fL	83.6 ~ 98.2	
Ш		平均赤血球血色素量 < MCH >	1	pg	27.5 ~ 33.2	-
液		平均赤血球血色素濃度 < MCHC >	全血	g/dL	31.7 ~ 35.3	•
学				%	0.5 ~ 2.0	標準臨床検査医学
的		網赤血球 <ret></ret>		10 ⁴ /μL	1 ~ 10	第5版(医学書院)
検			1			JCCLS
査		白血球数 <wbc></wbc>		$10^3/\mu$ L	3.3 ~ 8.6	共用基準範囲
					0.5 ~ 6.5	八川坐十和四
	末梢-血液-像-	好中球分葉核球			38 ~ 74	末梢血液における白血球目視
		好酸球	1		0 ~ 8.5	分類の共用基準範囲の設定
		好塩基球	- - -	%	0 ~ 2.5	(医学検査 Vol.64 No.6
		単球			2 ~ 10	2015)
	-				16.5 ~ 49.5	
		-				JCCLS
		血小板数 <plt></plt>		$10^{3}/\mu$ L	158 ~ 348	共用基準範囲
		2. 臨床判				
		検査項目 <略語>	検体	単位	臨床判断値	出典
					空腹時<110mg/dLは	
				mg/dL	正常型と判定する。	
					空腹時≧126mg/dLは	
		血糖値	血漿		糖尿病型と判定する。	
					施時≧200mg/dLは	糖尿病診療ガイドライン2024
生					糖尿病型と判定する。	
化				%	4.6 ~ 6.2	-
学		HbA1c	全血		HbA1c≧6.5%は	
的					糖尿病型と判定する。	
検					空腹時 < 150	
查		中性脂肪 <tg></tg>		mg/dL	随時 < 175	動脈硬化性疾患
		HDL-コレステロール <hdl-c></hdl-c>	・血清		≥ 40	予防ガイドライン2022年版
		LDL-コレステロール <ldl-c></ldl-c>			< 140	
		尿酸 <ua></ua>	1		<7.0	高尿酸血症・痛風の 治療ガイドライン第3版
M: <u> </u>	 男性、I	 F: 女性				
	,	- · ·				

		空 午 11 四	の記載を省略できない検		
領域	検査項目 <略語>	検体	単位	基準範囲	出典
	圧		mmH_2O	60 ~ 150)
凶脊髄液	細胞数	RX 25 85 法	/ μ L	≦ 5	
検査	蛋白	脳脊髄液	. / 11	15 ~ 40	
	糖	İ	mg/dL	50 ~ 90	
	アミラーゼ	随時尿	U/L	80 ~ 550)
	コルチゾール		μg/day	11.2 ~ 80.	3
	17 / 1 = = - / 13 17 1/0	蓄尿		M:4.6 ~ 18.	0
尿 —	17-ケトステロイド <17-KS>			F:2.4 ~ 11.	0
検 —	17-ハイドロキシコルチコステロ			M:3.4 ~ 12.	0
查 —	イド <17-0HCS>		mg/day	F:2.2 ~ 7.3	
	メタネフリン			0.04 ~ 0.1	9
	ノルメタネフリン	酸性蓄尿		0.09 ~ 0.3	
	バニリルマンデル酸 <vma></vma>			1.5 ~ 4.3	
	出血時間	全血	min	≦ 5	
			sec	9.5 ~ 13.	5
血出	┃ ブロトロンビン時間 <pt></pt>		%	80 ~ 120	
一 血 液			INR	0.9 ~ 1.1	
学	活性化トロンボプラスチン時間 <		11411	0.3	
, 的 上	APTT>	血漿	sec	30 ~ 40	
b 固 検	フィブリノゲン		mg/dL	200 ~ 400)
` │ 検 査 │ .	フィブリン/フィブリノゲン分解	-	IIIg/ uL	200 400	,
直	産物 < FDP >		μg/mL	< 5.0	
	Dダイマー		μ g/ ΙΙΙΕ	< 1.0	
	イマー		U/mL	30 ~ 45	
免	TH M C C C C C C C C C		O/IIIL)
疫	C3			$73 \sim 138$ $11 \sim 31$	<u> </u>
学				93 ~ 393	<u></u>
」 的	免疫グロブリンA < IgA > 免疫グロブリンG < IgG >	血清	mg/dL	95 ~ 393 861 ~ 1,7	JCCLS共用基準範囲
	免疫グロブザブG <iggブ< td=""><td rowspan="3"></td><td>IIIg/ uL</td><td></td><td></td></iggブ<>		IIIg/ uL		
検	免疫グロブリンM <igm></igm>			M:33 ~ 183	
査	u →° L fř ¬ L* v			F:50 ~ 269	
	ハプトグロビン			19 ~ 170)
	アンモニア	-4:e	μg/dL	15 ~ 80	
	脳性ナトリウム利尿ペプチド	血漿	pg/mL	≦ 18.	4
	<bnp></bnp>		./ 1		
	CK-MB		ng/mL	≦ 5	
	総鉄結合能 <tibc></tibc>	-	μg/dL	M:253 ~ 365	
生				F:246 ~ 410	
_ 化	フェリチン		ng/mL	M:21 ~ 282	
学		血清		F:5 ~ 157	
的	亜鉛 < Zn >		μg/dL	80 ~ 130	213 97EX (E 3 E 1707
検	銅 < Cu >			70 ~ 132	
査	葉酸	/H	ng/mL	4.4 ~ 13.	
	ビタミンB ₁₂		pg/mL	260 ~ 1,0	50
	クレアチニンクリアランス <ccr></ccr>		mL/min	80 ~ 110	
	インドシアニングリーン <icg>試験15分値</icg>		%	≦ 10	

M: 男性、F: 女性

		基準範 世	の記載を省略でき			
領域	検査項目 < 略語 >	検体	単位	基準範囲	出典	
	副腎皮質刺激ホルモン	血漿	pg/mL	午前7~10時に採血		
	<acth></acth>	шж	P8/ IIIE	7.2 ~ 63.3		
	成長ホルモン <gh></gh>		ng/mL	M: ≤ 2.47		
	成長 ボルモン へG ロン		rig/mL	F:0.13 ~ 9.88		
				M:2.00 ~ 8.30	7	
				F 卵胞期:3.01 ~ 14.72		
	黄体形成ホルモン <fsh></fsh>		mIU/mL	F排卵期:3.21 ∼ 16.60		
	RANDOM CO COMP			F 黄体期:1.47 ~ 8.49		
				F 閉経後: ≦ 157.79		
				M:0.79 ~ 5.72		
				F 卵胞期:1.76 ~ 10.24		
	卵胞刺激ホルモン <lh></lh>					
	卵胞刺放小ルモン <ln></ln>			F排卵期:2.19 ~ 88.33		
				F 黄体期:1.13 ~ 14.22		
				F 閉経後:5.72 ~ 64.31	4	
				M:4.29 ~ 13.69		
	プロラクチン <prl></prl>		ng/mL	F 閉経前:4.91 ~ 29.32		
				F 閉経後:3.12 ~ 15.39		
	甲状腺刺激ホルモン <tsh></tsh>		μU/mL	0.61 ~ 4.23		
	遊離トリヨードサイロニン		/ l	2.2 4.0		
	<ft<sub>3></ft<sub>		pg/mL	2.3 ~ 4.0		
	遊離サイロキシン <ft<sub>4></ft<sub>		ng/dL	0.9 ~ 1.7	7	
内	副甲状腺ホルモン <pth> 血清</pth>		PTH-intact	†		
, 分				10 ~ 65	標準臨床検査医学	
池		血清		whole PTH	第5版(医学書院)	
学				14.9 ~ 56.9		
的			pg/mL	M:14.6 ~ 48.8	4	
検	エストラジオール <e2></e2>					
査				F 卵胞期:28.8 ~ 196.8		
				F 排卵期:36.4 ~ 525.9		
				F 黄体期:44.1 ~ 491.9		
				F 閉経後: ≦ 47.0		
				F 妊娠初期:208.5 ~ 4,289		
				F 妊娠中期:2,808 ~ 28,700		
				F 妊娠末期:9,875 ~ 31,800		
	プロゲステロン			M: ≦ 0.22		
				F 卵胞期: ≦ 0.28		
				F排卵期: ≦ 5.69		
				F 黄体期:2.05 ~ 24.2		
				F 閉経後: ≦ 0.33		
			ng/mL	F 妊娠初期:13.0 ~ 51.8		
			_	(4~13週)		
				F 妊娠中期:24.3 ~ 82.0		
				(14~27週)		
				F 妊娠後期:63.5 ~ 174		
				(28~38週)	_	
	- 4 - 7 - 2 - 2		/ 11		4	
	コルチゾール		μg/dL	7.07 ~ 19.6	 	
	アルドステロン		pg/mL	40.0 ~ 82.1	臨床検査法提要	
	レニン活性 <pra></pra>	血漿	ng/mL/hr	臥位:0.2 ~ 2.3	改訂第36版	
- 1	7.5.		3,	立位:0.2 ~ 4.1	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	

	カットオフ値の記載を省略できない検査項目								
		α-フェトプロテイン <afp></afp>		ng/mL		≦	10		
		癌胎児性抗原 <cea></cea>		IIg/IIIL		≦	5		
生	腫	糖鎖抗原19-9 < CA19-9>					≦	37	
化	瘍	糖鎖抗原125 < CA125>		U/mL	F閉経前	≦	35		
学	マ	/////////////////////////////////////	血清			F閉経後	≦	25	
的	_	ガストリン放出ペプチド前駆体		pg/mL		≦	81	標準臨床検査医学	
検	カ	< ProGRP >		pg/IIIL		=	01	第5版(医学書院)	
査	_	PIVKA- II		mAU/mL		≦	40	第3版(区子音院)	
		前立腺特異抗原		ng/mL		≦	4		
		< PSA >		IIg/IIIL		=	4		
		KL-6		U/mL		≦	500		
		Surfactant protein-A < SP-A >		ng/mL		≦	43.8		
		Surfactant protein-D < SP-D>		IIg/IIIL		≦	110		
N/I· E	B //H	F·							